

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

兵庫県教職員組合

発行人 山名幸一
編集人 西嶋保子
電話 078(241)2345
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2008/7・21

No. 1721

本号は「教育ひょうご家庭版」として家庭へ直送します。「家庭版」は、組合員以外の方にも贈呈します。

すべての子どもたちに

「生きる力」の食教育を

7月19日(土)・20日(日) 全国から約350名の参加者を得て「第20回日教組栄養教職員研究会」がラッセホールで開催された。

基調報告要旨

食をとりまく状況が厳しくなる中、すべての子どもたちが食教育を受け、「生きる力」を育むことは社会の要請と考える。子どもたちが将来にわたり心身ともに健康な生活がおくれるよう、学校教育においても、家庭・地域との連携のもと、あらゆる学校教育活動を通して、望ましい食習慣の形成をはかることが大切



第20回日教組栄養教職員研究会

学校給食を教育に位置づけ、地場産物や地域食材を使うとくみなど、地域や保護者、生産者、給食に関する組織とつながることが大切。様々な人や組織と連

携をおこなうなかで、よりよい学校給食を求めていかなければならない。08年全都道府県に栄養教諭が配置された。各県における配置人数の格差や選考基準の不明確さ、過重な職務内容、複数校兼務や遠隔地への異動など、解決しなければならぬ多くの課題が明らかになってきている。食教育の確立には、安全で、安心できるおいしい学校給食がその基盤となっていることを忘れてはならない。行政、保護者・地域、教職員、日政連議員とが連携した運動をすすめることが重要。

この基調報告を踏まえ、各分科会で活発な討議がなされた。

第1分科会「食教育の充実」では、神奈川、大阪、福岡からの実践報告の後、学校給食を生きた教材とした食育の実践や、昔から食べられてきた食品の手作り、農業体験など様々な体験を通して食育の実践報告があった。

第2分科会「学校給食の改善」では、岡山、奈良、三重からの実践報告の後、地場産物を活用した学校給食の実践例や生産者との連携、調理員との人間関係の構築、食物アレルギーへの対応、民間委託問題等について報告された。

指導の兼ね合いの問題、職務内容に関する問題など各県の状況が報告された。

全国の栄養教職員が多くの課題を抱えるなかで、教職員の保護者、調理員、生産者等多くの方々と連携・協力のもと学校給食を生きた教材として食育を進めている。栄養教職員として

「学校給食を充実させる」ことが、食育を推進していくなかで最も大切にしていくことであることをお互いに確認できた。

日教組栄養教職員部20年の歴史と教訓に学ぶとともに、各県における栄養教職員部の課題解決に向けて取り組みを進めさせることを参加者全員で確認し、20周年の記念集会を閉会した。



第20回日教組栄養教職員研究会

では、「栄養教職員部20年のあゆみと展望」をテーマに、(初代部長)を はじめ歴代の部長から、栄養教職員部結成のとりくみ、学校給食を学校教育の一環に位置づけるとりくみ、栄養教諭制度創設にいたるとりくみについて報告があった。

9月28日 三田市議会議員選挙 2期目への挑戦 「市民の生活」を守る議員に

兵政連議員より



ひわだ充 (三田市議員)

7月1日、私は「三田市市制施行50周年」を市議会副議長として、記念式典の壇上で迎えました。思えば4年前、「誰かが梶原和代前市議会議員が築かれた道を継がなければ、三田の教育を守らなければ」との思いだけで8月4日に決意、11日に学校事務職員を退職して挑んだ三田市議会議員選挙でした。1ヶ月半後の9月26日、支援してくださる皆さんの熱い思いが私を議会へ送り込みました。

難なことですが。議員としてどう幅を広げるのか、模索の毎日でした。今年4月、道路暫定税率が失効した時に、市当局から市財政への影響の説明がありました。「歳入に欠陥を生じ道路行政に大きな支障をきたす、このままだと教育・福祉の予算を削ってまわさなければならぬ」と思わず言葉が失いました。市民はガソリンが値上がりして喜んでいて、そのことを、さも悪いことのようにとらえる行政に対して、どんなことがあっても「市民の生活」を守る議員でいなければならないと決心しました。

6月議会では、三田市で今最も注目されている「ごみ有料化」について、一般質問しました。諸物価の高騰で苦しむ市民を守るため、先送りすべきとの私の問いに、市長は、「市民の皆さんも大変ご苦労されており、ごみ減量化の結果を見てから論議をしたい」と、実質有料化を先送りする、大英断の答弁を返してくれました。今、多くの自治体は「三位一体改革」等の失政の影響を受け、厳しい財政状況に追い込まれています。こうした場合にいつの時代も切り捨てられるのが教育・福祉であり、働く者の賃金、すなわち市民の生活です。三田市でも4年で約47億円の効果額を生み出す行政改革を断行中で、学校給食費の値上げや福祉関係補助金の縮小・廃止、そして職員の賃金削減と、大変厳しい状況です。

9月28日の「2期目」へ、市民の生活が、痛みが、そして喜びがわかる議員としてしっかりと「挑戦」してまいりますので、4年前にも増してのご支援を賜りますようよろしくお願いたします。

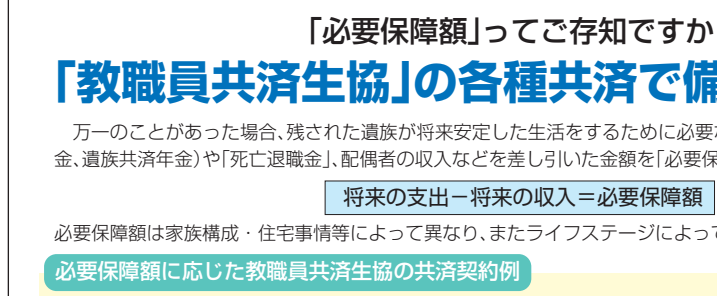


昨年アートホール神戸「写真公募展〜こどもの世界〜アートホール神戸賞」の作品。「すすめ!だんじり」不動 美智子さん(堺小学校)撮影

あれから4年、各種機会などでも議会を代表してご挨拶させていただき立場となりました。しかし、市政全般にわたって課題を把握し、解決への道筋を導き出すことは至

必要保障額ってご存知ですか? 「教職員共済生協」の各種共済で備えませんか?

万一のことがあった場合、残された遺族が将来安定した生活をするために必要な資金から、公的保障(遺族基礎年金、遺族共済年金)や「死亡退職金」、配偶者の収入などを差し引いた金額を「必要保障額」といいます。



教職員共済生協 各種共済のご案内

- ①総合共済
- ②団体生命共済
- ③医療共済
- ④火災共済
- ⑤年金共済
- ⑥自動車共済
- ⑦車両共済(保険)
- ⑧交通災害共済
- ⑨新・終身共済

さらに入院・手術等のリスクに備えるなら「医療共済」がおすすめ!

お手ごろな保険料の「ユース教弘保険」が変わります

～現行のユース教弘保険にご加入いただけるラストチャンスです～

	現行	新
保障内容	死亡・高度障害	現行どおり
保険料	保険金額1,000万円につき、1,941円	
加入時の年齢	34歳まで	
保障期間	加入日から15年間	24歳以下 15年間 25～29歳 10年間 30～34歳 5年間

申し込み・問い合わせ先
(財)日本教育公務員弘済会 兵庫支部 ☎(078)331-9973
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34
兵庫県学校厚生会館内